



写真 1 : ファンの声援に笑顔で応える栗山監督
 写真 2 : 日本一を祝福する手作りの看板も見られました
 写真 3 : 約 5,000 人のファンが訪れた優勝パレード
 写真 4 : 親子獅子舞に頭をかまれ、無病息災を祈りました
 写真 5 : 握手 & 撮影会にも約 1,100 組が参加
 写真 6 : やくみつるイラスト展も同時開催しました
 写真 7 : アリーナでは地元銘菓などが限定販売を実施
 写真 8 : スポーツセンターの入り口には監督直筆サイン入りのウェルカムボードも
 写真 9 : ファイターズの選手のバットをうれしそうに持つ女性ファン
 写真 10-11 : 栗山監督と握手 & 撮影会



栗山駅前通りで 12 月 23 日、栗山監督優勝パレードが行われ、監督就任後初の日本一を祝福しようと、町内外から約 5,000 人のファンが訪れ声援を送りました。町内で優勝パレードが行われるのは 4 年ぶり 2 回目。栗山監督はいつも通りのスポーツウェアと長靴姿で、軽トラックの荷台の上から「ありがとう」と声をかけながら笑顔で応えていました。パレード終了後、栗山監督は「天候が悪い中、たくさんの人が観に来てくれて感動した。雪の中で紙吹雪を振らせてもらうという北海道の風物詩を体験することができてうれしかった。準備をしてくれた栗山の人たちに感謝したい」と、思いを語りました。このほか、栗山監督との握手 & 撮影会も行われ、約 8 時間をかけ、約 1,100 組のファンと交流を深めました。





消防ポンプ自動車を更新 栗山消防団第3分団第1部

栗山消防団第3分団第1部の消防ポンプ自動車を更新されました。新しい車両は、2500ℓの水槽付消防ポンプ車。消火栓や防火水槽など、水利の確保が困難な地域の災害対応と迅速な初期消火を図るために配備されました。オートマチックミッションでABS装置も装備しています。11月24日、同部庁舎前（継立）で入魂式が行われ、栗山消防団の永田英隆団長は「南部地区の地域住民の安全・安心を守るために、大切に使用したい」とあいさつしました。



住民参加で河川工事 春の小川再生事業



里山の環境保全・保護と治水を目的とした住民参加による再生事業が11月27日、ハサンベツ川支流の通称「春の小川」で行われました。平成24年の大雨などで山裾の一部が崩れ、下流に大量の土砂が流出。平成25年から住民参加方式で河川再生の取り組みを行っています。この日は山崩れを防ぐ河床低下防止や、魚を遡上させるための玉石組みなどを実施。ハサンベツ里山計画実行委員会やタ張川自然再生協議会、町職員など約40人が参加し、積雪による寒さの中、作業が行われました。

老人クラブと交流会 栗山高校

栗山高校の3年生が12月8日、「中里長寿会」の会員10人を学校に招待し交流会を行いました。町社会福祉協議会の学校ボランティア活動普及推進事業として行い、今年で2回目。「生活と福祉」「フродデザイン」の科目を選択している27人が参加し、はじめに生徒が考えたレクリエーションを行い、その後、蒸しパン作りに挑戦。最後に、生徒が手作りの来年のカレンダーが贈られました。老人クラブ会員の元田隆さんは「高校生と一緒にたくさん話ができて良かった」と大喜びしていました。



健やかな新年を しめ飾り清祓い



町内の生花店「たかはしダリア」の倉庫で12月13日、お正月用しめ飾りの清祓い式が行われました。新年を迎えるための恒例行事で、この日お祓いを受けたのは玄関用の「玉ジメ」や神棚用の「宝船」など約40種4000点。式では健やかな新年を迎えられるよう、神職が祝詞を読み上げ、関係者が玉ぐしをさげました。清められたしめ飾りは12月15日から「たかはしダリア」の店頭に並びます。

ブランド栗づくりに挑戦 ふれあいトーク



栗山の自然・歴史・産業・生活文化講座「ふれあいトーク」が12月13日にふれあいプラザで行われ、町民約40人が参加しました。この日は、「栗山の新たな名産品、ブランド栗づくりに挑戦する！」と題して、池田農園の池田昌史さん（角田）と水上農園の水上由美子さん（富士）が講演。栗の栽培やお菓子作りに対する思いや苦勞、栗の実際の保管方法や活用、栗皮のむき方などについて講演。また、栗ごはんや水上さんが作った栗の渋皮煮などの試食も行われました。

留学の経験を未来へ 介護学校で交換留学報告会

北海道介護福祉学校で12月15日、福祉先進国フィンランドでの交換留学に派遣された学生による報告会が行われました。同校2年の岸郁香さん、小池里歩さん、田中健太さんは9月9日から26日までの18日間、フィンランドのカヤニニ市にあるカイヌーン職業学校での授業や実習などを体験。就職後の仕事に生かしていきたいことなどを報告しました。3人は「他の国の文化を知り、考えが柔軟になり視野も広がりました。この経験を未来へつなげていきたい」と話していました。



美しい歌声響き渡る 栗山少年少女合唱団



栗山少年少女合唱団のロビーコンサートが12月18日、カルチャープラザ「Eki」で開かれました。同合唱団に所属する栗山、長沼の小中高生と体験参加者の合わせて19人が、クリスマスの衣装やアクセサリーを付け「ジングルベル」や「あわてんぼうのサンタクロース」など、クリスマスにちなんだ歌を合唱。また、合唱団OGの月下愛実さん（道教育大岩見沢校芸術課程音楽コース）がゲスト出演し、ソプラノ独唱を披露し、集まった約60人はひと足早いクリスマス気分を味わいました。

小学生が地産地消を体験 4Hクラブ手打ちうどん教室

栗山町4Hクラブによる手打ちうどん教室が栗山小学校と継立小学校で開かれました。今年は12月12日、13日、20日の3日間、栗山・継立小学校の5、6年生を対象に行われました。はじめに小麦粉と塩水を入れたビニール袋を振って、生地づくり。その後、棒で薄く延ばし、麺切りに挑戦。個性的な麺が出来上がりました。麺をゆで、町内産の野菜がたっぷり入った出汁をかけて試食。参加した継立小5年の木戸那優さんは「自分で作ったうどんは、とてもおいしかったです」と話していました。

